

特許紹介

第26巻第9号 昭和14年9月

軌條断面測定法

(特許第130441号 發明者(特許權者) 森房次郎外4名)

之は簡単に軌條の断面測定をする事ができ且つ之を簡単に取外す事もできるやうにした軌條断面測定法であつて、其の使用具の主なるものは記録紙と挾器である。記録紙は軌條の原型と一致する切欠を有する2個の部分(1)(1')から成り、之を枠板(3)に取付けて軌條の所要部分を

挟んで固定するのである(図-1)。一方挾器(図-2)は、兩端に相對してローラー(22)(22')を軸架したもので、ローラーの一方(22)の軸心に記録針(23)を取

付け他方(22')を其の支臺(24)としたものである。而して之を使用するには、其の2つのローラーの間に前述の記録紙を挟み軌條の周邊に接して挾器を運動させ、記録紙面に軌條の原形図(ローラーの半径だけ大)を畫かしめるのである。

ローラー付水門々扉に於ける等荷重分布装置

(特許第130514号 發明者 丸幸太郎、特許權者 井出松夫)

此の装置は、ローラーゲートの受面の凹凸により各車輪が不平等な荷重を受ける危険を自動的に防止し、且つ荷重を平等に各車輪が受ける事により従来の製品に比

図-3.

1組の車輪の取附を示す側面図

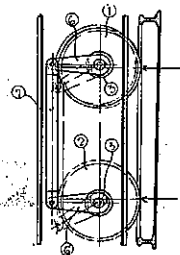


図-4. 同断面図

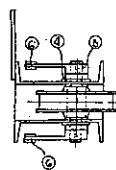
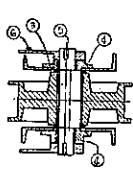


図-5. 車輪の詳細断面図



較して安全性を増すと共に經濟的製作を爲し得るやうに考案したものである。即ち水門々扉の兩側に2組宛(又は數組宛)の車輪を取付け、各1組の2個の車輪(1)(2)は夫々偏心軸(3)に依り軸承中心に對して偏心的に水門々扉に取付けられ、偏心軸(3)は其の軸承(4)中心線上の兩端に楔(5)を以て固着せられた腕杆(6)(6')を有し、夫々の腕杆の他端を連結杆(7)を以て連結せしめたものである(図-3, 4, 5)。図-3に於ける點線は、車輪(2)が(1)よりも受圧面の凹凸に依り大なる荷重を受けた場合の腕杆及連結杆等の位置を示す。

中空コンクリート杭の接続打込方法

(特許第130611号 發明者 山田隆二 特許權者 日本コンクリートボール株式会社)

此の方法は、第1の鉄筋コンクリート製中空杭を地中に打込んで頭部を僅かに残す位になつた時、中空部側方に鑄狀鉄筋(3)を突設した鉄筋コンクリート製柄口筒(4)を前記中空杭の頭部内に挿入し、麻繩等の充填材(6)により鑄狀鉄筋と中空杭の上面との間に或る間隔(d)を存するやうに柄口筒を支持させ、中空杭外周に鉄板(7)を巻き(図-6)、其の内部と柄口筒との間に固練モルタルを上記鑄狀鉄筋が中央に埋没する迄充填し、

其の上に第2の中空杭を嵌入して直ちに打込みを開始するのである(図-7)。此の方法は以上の如くであるから現場で中空杭を迅速且つ安定に接続しつゝ打込み得る利點がある。

図-6.

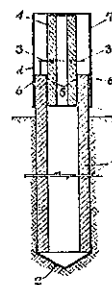
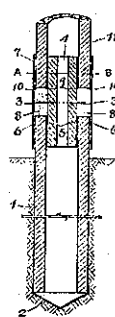


図-7.



鐵道用信號及分岐器の集中聯動鎖錠設備に於ける連繫变换工事作業方法の改良

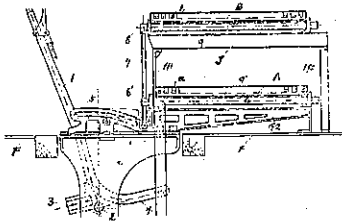
(特許第130656号 發明者 吉井友作 特許權者 鐵道大臣)

従來此の種装置の修繕工事取換工事其他模様換工事等に際しては聯動用挺子から分岐器及鎖錠装置關係を切り放し、分岐器は最も原始的な手動式転轍器又は鞞叉の装置として、舊鎖錠装置を除去し其の跡に新鎖錠装置を設け然る後に之を信號及挺子に連繫させ次いで此

等に分岐器を連繋させて完成したものであるが、之では莫大な假設備の費用及人件費を要し、而も作業上の機能を低下せしめる缺點がある。

此の發明は上述の缺點を除去し得るもので、上記設備の交換工事に當

図-8.



り、既設の鎖錠装置(A)の直上(若くは直下)に該鎖錠装置と同一の接続聯動々作を奏すべき假鎖錠装置(B)

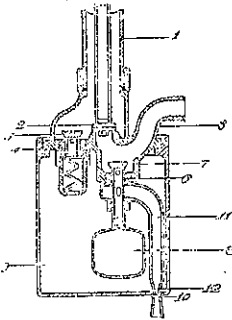
を設け之と聯動挺子(1)とを接続して動作させつゝある間に、舊設備を除去し、所要の新設備を其の跡に設け之が完了した後前記聯動挺子(1)を再び右假設備から本設備に切り換へるのである(図-8)。

不凍給水栓に於ける排水装置

(特許第 130783 號 特許權者(發明者) 山田文次郎)

此の排水装置は、給水栓の下部に排出口(10)を有する水槽(9)を連結し、其の

図-9.



水槽内に浮体(8)を有する射出弁(7)、及エゼクター(12)を備へた射水管(11)を給水管(3)に連通させ、排水弁(5)から水槽内に導入した溜水を排水口(10)から排出するやうにしたもので、之に依れば排出口からの溜水が通水管(1)内に逆流するのを防止し、溜水を水槽内に導き浮体(8)の浮力に依り射出弁(7)を開きエゼクターを作働させ溜水を自動的に排出し得る(図-9)。

鉄道転轍器ボックス接続装置

(特許第 130787 號 特許權者 モニエオン・スウィッチ・エンド・シグナル・コムパニー)

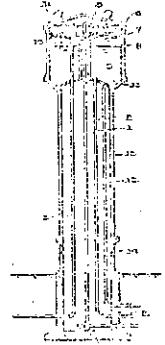
此の發明は、転轍器ボックスとポイントとの接続装置に於ける磨滅による游動を防止する爲彈子を利用し、而もポイントが軌條から離れる方向に於ける運動を直ちに転轍器ボックスに傳達し得るやうにした装置である。

浄水装置

(特許第 130634 號 發明者 多田 彰 特許權者 昭鉄)

此の装置は中空高塔(13)の上方に上部に酸化濾過床(7)を又下底に凹窪部を備へた貯水槽(9)を設け、濾過床上に原水を滴下すべき撒水管(5)(6)を敷置し、濾過床下に通氣孔(10)を穿ち、撒布原水を自然通風に依り通氣窓(14)より流入上昇する氣流と接觸させ酸化作用を促進するやうにし、尚貯水槽凹窪部に開口する排泥管(12)及浄水配水管(2)を設けたものである(図-10)。

図-10.



之は滿洲に於ける小都市簡易水道或は沿線機關車給水用浄水装置等として適當である。

(附) 登録實用新案

基礎用縦杭

(第 26815 號 實用新案權者 公告 13 年第 19641 號 日東コンクリート株式会社)

土留管

(第 26823 號 實用新案權者 公告 13 年第 19561 號 木田陸造)

ストーンゲートのローラー離脱防止装置

(第 26850 號 實用新案權者 公告 14 年第 3539 號 山原久吉)

コンクリート基礎埋築管

(第 267880 號 實用新案權者 公告 14 年第 1009 號 鈴木 正男)

踏切遮断杆平衡重錘取着装置

(第 267896 號 實用新案權者 公告 13 年第 19876 號 日本踏切工業合資会社)

鉄道用転轍鎖錠装置

(第 268016 號 實用新案權者 公告 14 年第 2370 號 昭 嘉六)